

牽引抗力

牽引抗力

一〇七<sup>斤</sup>

六〇〇<sup>斤</sup>

一一四<sup>斤</sup>

六〇〇<sup>斤</sup>

一五〇

六二〇

一六二

六〇五

二一二

六一〇

二二〇

六一〇

二三四

六三〇

二二〇

六一〇

以上ハ一例ニ過キサレモ數回試驗ノ結果ヨリ左ノ如ク結論スルヲ得ルト云フ

- 一 空氣輪ニアツテハ牽引抗力ハ殆ンド進行速度ニ依リ増減ナキモ鐵ノ釘ニアツテハ進行速度ト共ニ牽引抗力ハ増減ス
- 二 故ニ鐵釘ハ十八乃至二十斤ヲ超過セサルガ如キ低速度ニ於テ利益トス
- 三 兩者共ニ牽引抗力ハ荷重ト比例シテ増減スルコト勿論ナリ

○塵埃防止ノ爲メニ石油ヲ路面ニ散布スルノ効果 英國さるれい地方ふあるんぼろーニ

於テハ昨年中ニ塵埃防止ノ目的ヲ以テ石油ヲ路面ニ散布シ本年始メニ於テ其成績ニ就キ詳細ノ調査ヲ爲セシニ不成績ナリシ散布ノ當時ニハ路面ニ薄キ膠漆狀ノ物質ヲ形成シ塵埃防止ノ目的ヲ達シ一時間六十五斤ノ速度ヲ有スル自動車ノ飛走モ塵埃ヲ揚クルヲ認メザリシ然ルニ其後調査ノ時ニ於テハ大ニ趣ヲ異ニシ石油ハ孰レニカ發散シ石油ヲ以テ散布セラレシ區域ト否ラザルトコロト區別シ能ハザルニ至レリ六百筋ノ重量ヲ有スル自動車ノ四十斤毎時ノ走行ハ兩區域同様ノ塵埃ヲ飛揚セリ要スルニ其効果ハ不良ナリシ以上ハさるべいよる雜誌本年三月記載ノ拔萃ナリ然ルニ同雜誌五月發行ノ分ニ於テハぼんべい市ニ石油散布

ノ一例ヲ記載セリ同市ニテハ昨年十一月ニ試験散布ヲ行ヒ更ニ再ヒ昨年末ニ散布ヲ施行セシ結果ハ稍良好ナルモノ、如シ然レトモ降雨ノトキハ石油ヲ散布セシ區域ハ路面ノ磨損多ク雨止ミタル後乾燥遅シ而シテ其好結果ヲ得タル一例ハ米國カリフォルニア州ノさうすばさでな市ニ於ケルモノナリ同市ニテハ延長十六軒以上ノ區域ニ石油散布ヲ行ヒ既ニ五年以上ヲ經過シタルモ効果良好ニシテ其著シキ部分ニ於テハ路面土瀝青ノ如キ外見ヲ爲シ其層五層乃至七層半ニ至レルアリ同市ニテ石油ヲ散布シタルハ攝氏八十五度乃至九十三度ニ温メ充分ナル量ニ散布セリト云フ以上之レヲ要スルニ石油散布ハ路面塵埃防止ノ効ヲ奏シ得ル程度ニ進歩シタルモノニ非ザルガ如シ

右二件HN

電氣

○高速度電氣鐵道實驗 獨逸國 Marienfelde Zossen 間ノ軍用鐵道線路ニ於テ電車ノ速度ニ關シ有益ナル實驗ヲ施行セリ最初ノ實驗ニ在リテハ軌道不完全ナリシ爲メ電車一時間ノ速度百六十きろめーごるニ達スルキハ電車ノ動搖甚シキノミナラス軌條ハ屈曲ノ兆候ヲ呈シ鐵材すりつばニハ罅裂ヲ生スルニ至リタルヲ以テ遂ニ此速度ヲ超ユルコト能ハザリシガ第二回ノ實驗ニ在リテハ大ニ軌道ヲ改良シ軌條ハぶろしやん、すてーご、れーるうえーニ使用セルモノニシテ一めーごるノ重量ハ四十一きろぐらむ(每嗎八十二磅余)トス是レヲ布設スルニハ各一條ノ長サ十二めーごるニ對シ松材ノ枕木十八本ヲ用ヒばらすごニハ破碎セル鎔化石ヲ代用セリ尙ホ電車ノ脱線ヲ防護スル爲メ各軌條ニ沿ヒ五十みりめーごるノ間隔ヲ保チテ保護軌條ヲ布設セリ斯クテ最大速度ハ毎時二百きろめーごる(即チ毎時百二十五哩ナリ)此軌道